



外国文献紹介

小児におけるポイント・オブ・ケア肺超音波検査所見の異なる検者間での信頼性について

Gravel CA et al : Interrater reliability of pediatric point-of-care lung ultrasound findings. Am J Emerg Med 38 : 1-6, 2020

筆者らは、臨床的に肺炎が疑われた小児 71 例（852 肺領域）に対して、ポイント・オブ・ケア肺超音波検査を実施して、各肺領域に肺炎が存在するか否かを調べ、異なる検者間での診断の一致率について検討した。異なる検者間での一致率の評価には、級内相関係数 intraclass correlation coefficients : ICC）や k 係数を用いた。その結果、肺炎を示唆する所見で異なる検者間での一致率が高かったものは、B ラインの ICC が 0.52、胸水が 0.4、コンソリデーションが 0.39 等であった。領域別評価では、肺全体での ICC は 0.46 であったが、特に左前胸部の所見の一致率が 0.36 と低値を示した。そして、ポイント・オブ・ケア肺超音波検査所見は、小児の肺炎の診断に関して、中等度の信頼性があると考えられるが、更なる信頼性の向上を目指す必要があると述べている。

瀬戸一彦